



みなみの風

南の風はあたたかい

Vol.7

2012年9月

Minami Lounge Information

外国につながる子育て中のママを応援します

① 同じ年頃のお子さんを持っている日本人のママさんと交流してみませんか。

南区の生涯学級「みんなで楽しむ国際交流」があります

活動日：毎月第4月曜日 10:00～12:00

対象者：1歳過ぎから小学校に入る前のお子さんを持つ外国人の親子

内容：毎回テーマを決め、体を動かしたり、お菓子や料理を作ったり、文化的な活動を通して日本と外国の子育ての違いを認め合いながら、子育て中のお母さんたちがいきいきとした生活を送れるための交流をします。

子どもが幼稚園や小学校に入る前に、地域に溶け込むチャンスです。

問合せ：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ 電話：232-9544(外国語でも対応します)



② 南区役所福祉保健センターこども家庭支援課より「外国人ママの会」の開催

活動日：第1回7月30日は無事終了しました。

第2回11月12日(月)10:00～11:30

対象者：小さい子どもを持つ外国人の新米ママ、妊娠中の方

内容：日本の折り紙と育児講座(インフルエンザ予防)

問合せ：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

電話：232-9544(外国語でも対応します)



第1回浴衣と盆踊りの風景



9月以降の講座・イベント

ラウンジからのお知らせ

日本語ボランティア講座(基礎編)開講

日時：9月29日(初回だけ土曜日)

10月10日～11月21日(毎週水曜日)

13:30～16:00(全8回)

内容：地域に住む外国人に生活に必要な日本語を教えるための基礎知識と心構え。(詳しい内容はチラシを参照)

費用：無料(テキスト購入の場合2500円ほど)

申込：直接ラウンジ窓口、ハガキ、FAXにてお申し込みください。

FAX: 242-0897 電話: 232-9544

2012年度「みんなの『わ!』フェスタ」予告

日時：12月1日(土曜日)

11時～15時

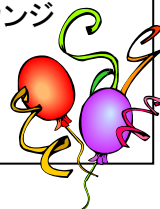
内容：外国人による日本語スピーチ

市民活動団体などによる世界の料理やお茶
日本文化を紹介する出し物などを予定しています。

問合せ：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

電話：232-9544

242-0888(外国語)



日本の高校進学に備えよう！

なぜ高校に行きますか？

日本では、9年の義務教育を終えた子どもの98%が高校に進学します。なぜかという、仕事を選ぶときの選択肢が増えるからです。

中学卒業で就職できる職業や職場は極めて限られていますし、外国人の場合は在留資格も取得できません。日本の専門学校のはほとんどは高校を卒業しないと入れませんし、日本語学校も18歳以上でないと受け入れてくれません。高校を卒業することによって、専門学校・短期大学・4年制大学に進学が出来る、知識や技術を習得できます。高校は人生の入口といってもいいかもしれません。

どうすれば入れますか？

日本でも、外国でも構いませんが、中学を卒業することが条件です。日本の場合は、4月が新学年なので、入試は2月ごろになります。

ここを注意① 日本の公立高校は同時に何校でも受けられるわけではありませんので、万が一のために私立の学校も受けるよう勧められます。一般的に私立の試験は早いのですが、公立の試験結果を待ってくれます。公立の学校に合格したら、私立の学校を辞退することが出来ます。

全日制公立高校の受験は今年から1回のみになりました。不合格の場合は、定時制と通信制の2次試験を受けることが出来ます。

ここを注意② 通信制以外の学校に入るには、中学校2年後半と3年の成績および学力試験と面接の成績で判断されます。中学校の成績には、すべての科目が含まれます。保健体育・家庭科・音楽・美術など、普段あまり重要視されていない科目も同じ5段階評価で点数を加算されますので、くれぐれも普段から真剣に取り組んでほしいところです。

ここを注意③ 日本に来て3年以内の外国籍の子どもには、「在県外国人等特別募集」という優遇制度（試験科目は数・英・国の3教科だけ）がありますが、受け入れ学校は限定（10校）されています。特に横浜市内では受験生の数に比べ、学校数は少ないため、競争率が高い。従って、選択範囲を広げ、学校見学をお勧めします。実際に通えるかどうかを確かめましょう。

これからすること 9月から県内各地で高校進学ガイダンスが行われます。9月30日の13:00～横浜駅の県民活動サポートセンターでやります。高校の先生も来ますので、聞きたいことは直接聞けます。海外の中学を卒業した人は、12月10日～1月24日の間に県の教育委員会に志願資格承認申請をしなければなりません。必要な資料を準備し、2月1日に願書を志望学校に出します。

入ったら何をしますか？

「勉強することに決まっているでしょう」って言われそうですが、ここでも日本の特徴があります。まずは義務教育でなくなったので、基本的にすべては本人次第です。必修科目以外の選択や、単位の取得など、中学校まで考えられなかった留年や退学もついてきます。

単位とは、毎週1時限の授業を1年間修得すると1単位になります。毎週2時間の授業なら2単位、4時間の授業なら4単位となります。

修得とは、授業の出席日数が足りて、なおかつ成績は合格に達していることです。

高校を卒業するには74単位が必要です。全日制では3年が必要で、定時制では普通4年がかかります。

あなたの子どもの将来のため、進学については早めに情報を収集し、準備を進めましょう。

困ったことがあれば、毎月第4木曜日の13:30～15:30の教育相談を是非ご利用ください。



みなみの風(多言語情報紙)

発行：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

(略称:みなみラウンジ)

〒232-0024 南区浦舟町3丁目46番地 浦舟複合福祉施設10階

TEL 232-9544(日本語) 242-0888(外国語) FAX 242-0897

相談時間：午前9時～午後5時

休館日：第3月曜日 および年末年始(12月29日～1月3日)